

障害学生に対する合理的配慮の事例

下記は、本学通信教育部において実際に合理的配慮を行った事例です。ただし、実際の合理的配慮の内容は、合理的配慮の申請者と大学との協議・合意を経て、決定されます。合理的配慮の実施には、期日までに「合理的配慮」の申請が必要です。

*「合理的配慮」とは、障害のある人が教育を受ける権利を行使できるよう、大学が必要かつ適当な変更・調整を行うことです。それは状況に応じて個別に必要とされるものであり、かつ大学に対して過度の負担を課さない配慮のことです。

支援項目	(1-1) スクーリング試験		(1-2) Web科目試験・リアルタイムスクーリング試験
	合理的配慮の内容	対象会場	合理的配慮の内容
①受験時間延長について	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳や診断書等により、試験問題文の読み取りや解答作成に時間を要すると認められた場合、試験時間の延長を許可する。 ※受験時間の延長が認められた場合、別室受験となります。 ※1つの群で科目試験時間を延長した場合、受験科目数に制限がかかる場合があります。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳や診断書等により、パソコン等の機器操作や試験問題文の読み上げ等で、介助者の同席が必要と認められた場合は、同席を許可する。 障害者手帳や診断書等により、試験問題文の読み取りや解答作成に時間を要すると認められた場合、試験時間の延長を許可する。 ※1つの群で科目試験時間を延長した場合、受験科目数に制限がかかる場合があります。
②答案記入について	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳や診断書等により、筆記が困難と認められた場合、点字やパソコン等による答案作成を許可する。 ※試験内容によっては、パソコン等が使用できない場合があります。 ※パソコン使用が認められた場合は、別室受験となります。 ※パソコン等の機器は、本学で用意することが可能です。 ※点字機器類は大学での準備がありません。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳や診断書等により、パソコン等による試験解答の入力が困難と認められた場合や試験時間延長が認められた場合は、携帯メール等による解答の入力・送信を許可する。 ※点字機器類は大学での準備がありません。
③問題文等の拡大及びルーペ等の拡大器の使用について	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳や診断書等により、通常の文字の大きさや、小さい文字を読む・書くことが困難と認められた場合は、問題文・解答欄を拡大する。 障害者手帳や診断書等により、通常の文字の大きさで読むことが困難な場合、申請によりルーペ等の拡大器の利用を許可する。 ※拡大器などは大学での準備がありません。ご自身でご準備いただくこととなります。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ルーペ等の拡大器の使用を許可する。
④注意事項のアナウンスについて	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳や診断書等により、試験監督員のアナウンスの聞き取りが困難と認められた場合、アナウンス原稿をアナウンスの時間帯にお渡しする。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> 試験時の注意事項等は、ポータルサイト上に掲載されます。ご自身でご確認ください。
⑤構内車両乗り入れ及び駐車について	<ul style="list-style-type: none"> 車イス使用者や歩行困難の方は、期日までに申し出があった場合は、自家用車やタクシーの構内乗り入れを許可する。駐車場が必要な場合は、専用の駐車場を用意する。 ※地方会場への車両乗り入れについては大学として対応ができません。ご希望の際は、各会場等にお問合わせください（駐車料金等は、各自負担となります）。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> 自宅等で受験のため支援はありません。
⑥優先席の確保について	<ul style="list-style-type: none"> 期日までに申し出があった場合は、優先席を確保する。（例）車いす利用者専用席、聴覚障害者専用席等 地方会場では、優先席を確保することはできませんので各自で席の確保をお願いいたします。また、会場により車椅子の使用ができない場合もありますので、事前にご確認ください。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> 自宅等で受験のため支援はありません。
⑦車椅子での受験について	<ul style="list-style-type: none"> 期日までに申し出があった場合は、車椅子での受験を許可する。 ※車椅子は大学での準備がありません。ご自身でご準備ください。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> 自宅等で受験のため支援はありません。

支援項目	(2-1) 会場におけるスクーリング受講		(2-2) リアルタイムスクーリング受講	
	合理的配慮の内容	対象会場	合理的配慮の内容	
①手話通訳及びノート（PC）テイクの学習支援者の手配について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳や診断書等により、手話通訳及びノート（PC）テイクの学習支援者の同席が必要と認められた場合は、同席を許可する。 ※手話通訳及びノート（PC）テイクの学修支援者の手配は、各自でお願いいたします。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳や診断書等により、手話通訳及びノート（PC）テイクの学習支援者の同席が必要と認められた場合は、同席を許可する。 ※手話通訳及びノート（PC）テイクの学習支援者の手配は、各自でお願いいたします。 	
②メディア授業の文字起こしについて	<ul style="list-style-type: none"> ・「2019年度以降の入学者」または「在籍者の方で2019年度以降初めて文字起こしを申請される方」は、メディア授業の文字起こしの対応について、各自で手配をお願いします。 ・申し出により文字起こしソフト「UDトーク」等の使用を許可する。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「2019年度以降の入学者」または「在籍者の方で2019年度以降初めて文字起こしを申請される方」は、メディア授業の文字起こしの対応について、各自で手配をお願いします。 ・文字起こしソフト「UDトーク」等の使用を許可する。 	
③テキスト等の準備及び配布資料のデータについて	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト教材、スクーリング配布資料、および学習ガイド等の点字化、文字拡大等を許可された場合は、各自でそれらの手配をお願いいたします。 ・障害者手帳や診断書等により、パソコンによる読み上げなどのために配布資料のデータが必要な場合は、可能な限り事前にデータ提供します。 ・資料は郵送いたします。 ※科目によっては当日配布になる場合や、データがないものもあります。 ※科目によって、事前の教材配布がない場合があります。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト教材、スクーリング配布資料、および学習ガイド等の点字化、文字拡大等を許可された場合は、各自でそれらの手配をお願いいたします。 ・障害者手帳や診断書等により、パソコンによる読み上げなどのために配布資料のデータが必要な場合は、可能な限り事前にデータ提供します。 ・資料は郵送いたします。 ※科目によっては当日配布になる場合や、データがないものもあります。 ※科目によって、事前の教材配布がない場合があります。 	
④メディア授業学修報告書・レポートの提出について	<ul style="list-style-type: none"> ・「在籍者のうち支援継続者」は、点字でのメディア授業学修報告書・レポートは受理できませんので、「墨字の文章の提出」あるいは「学光ポータル」からの提出となります。 ・2018年度1年次入学以降の方は「学光ポータル」からの提出となります。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「在籍者のうち支援継続者」は、点字でのメディア授業学修報告書・レポートは受理できませんので「墨字の文章の提出」あるいは「学光ポータル」からの提出となります。 ・2018年度1年次入学以降の方は「学光ポータル」からの提出となります。 	
⑤ルーペ等の拡大器およびノートPC等の使用について	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の文字の大きさで読むことが困難な場合は、申し出により、ルーペ等の拡大器の利用を許可する。 ・障害者手帳や診断書等により、筆記が困難と認められた場合は、ノートPC等の機器の使用を許可する。 ※機器の貸出は行っておりません。各自でご用意ください。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーペ等の拡大器使用及びノートPC等の使用を許可する。 	
⑥補聴器等の使用について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や聴覚障害等で講師の音声聞き取りにくい方は、補聴器等の使用を許可する。 ・補聴援助システム「ロジャー」等の使用は、担当教員がマイクを付けることを許可した場合に許可する。ただし機器は各自で用意ください。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器や補聴援助システム「ロジャー」等の使用を許可する。 	
⑦優先席の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・期日までに申し出がある場合、優先席を確保する。 （例）車いす利用者専用席、手話通訳者を配置するための専用席、ノートテイクのための専用席、聴覚障害があり講師の読唇可能な席など。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅等で受講のため支援はありません。 	
⑧構内車両乗り入れ及び駐車について	<ul style="list-style-type: none"> ・車イス使用者や歩行困難の方は、期日までに申し出があった場合は、自家用車やタクシーの構内乗り入れを許可する。駐車場が必要な場合は、専用の駐車場を用意する。 ※地方会場への車両乗り入れについては大学として対応ができません。ご希望の際は、各会場等にお問合わせください（駐車料金等は、各自負担となります）。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅等で受講のため支援はありません。 	
⑨車椅子での受講について	<ul style="list-style-type: none"> ・期日までに申し出があった場合は、車椅子での受験を許可する。 ※車椅子は大学での準備がありません。ご自身でご準備ください。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅等で受講のため支援はありません。 	
⑩精神的障害のある方について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の状況を担当教員に知らせる。 	創価大学	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の状況を担当教員に知らせる。 	